

3

No.563
MAR.2018

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



働き方改革に関する調査研究WGがスタート



産業政策委員会が県との意見交換を行う



第2期女性活躍研究会を開催



茨城経協

CONTENTS

- 01 「働き方改革」に関する調査研究ワーキンググループがスタート
- 02 「第4回会員満足度調査」の結果まとまる
- 03 委員会報告
政策／産業政策／経営教育／創立70周年記念事業
- 07 支部だより
支部共催／県北／常陸・那珂／取手・龍ヶ崎／土浦・石岡・つくば
- 11 いばらきの理解を深める9支部めぐり⑫<葛田一雄>
「鹿行地区支部」
- 13 NPO情報Vol.209<横田能洋>
「移民政策がない中での外国人の定住化にどう対応するか」
- 14 セミナー・事業等のご案内
- 15 新入社員用DVD教材のご案内

「働き方改革」に関する 調査研究ワーキンググループがスタート

労働企画委員会（委員長 家次晃氏（株）日立製作所日立事業所副所長）は、1月22日（月）、2月5日（月）、経営者協会会議室において「働き方改革」に関する調査研究ワーキンググループを開催した。

本調査研究ワーキンググループは、人口減少、労働力不足、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ、同一労働同一賃金など、わが国の雇用環境は変革の時期を迎え、これまでとは異なる「働き方」、労務管理が全ての企業経営に求められる現在、調査研究を行い、あるべき「働き方」を明らかにし、会員企業に得られた知見をレポートに取り纏め提供する目的で発足したものの。

本調査研究の座長を常磐大学教授の安田尚道氏にお引受け頂き、ワーキンググループメンバーとして当協会会員の中から業種、規模の異なる15社15名を選任した。

第1回会合（1月22日）では、冒頭、家次委員長が「今回、全国的に非常に大きな注目を集めている『働き方改革』につきまして、われわれ経営者協会と致しましても、県内で先進的な取り組みをされている事例、あるいはなかなか取り組みが進まない理由や課題など、さまざまな視点から協議検討を加え、経営者協会の一つの成果物として取り纏めを行うため、本ワーキンググループを開催させて頂くこととなりました。メンバーのみなさまにおかれましては、各社での取り組みを踏ま

えて、活発な討議をお願いしたいと思います。座長をお務め頂きます安田教授には、本調査研究の全般的なアドバイスを頂戴することになります。何卒よろしくお願い申し上げます。安田座長、メンバーのみなさまには、全4回の会合となりますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます」とワーキンググループの趣旨、目標、メンバーへ期待することなどを交え、挨拶を行った。

その後、ワーキンググループメンバーが、自社の「働き方改革」の取り組みを踏まえて発言を行った。

安田座長からは、「『働き方改革』調査研究の基本的考え方」と題して、政府の働き方改革の概要企業における働き方改革の構造、「働き方改革」の調査研究に関する基本的考え方についてご講演頂き、ワーキンググループの活動指針を示された。

第2回目（2月5日）の会合では、ワーキンググループメンバー3名から、自社の「働き方改革」に関する取り組み事例について発表頂き、メンバーが協議検討を加えた。発表は、（株）ケースホールディングス課長代理 小池千鶴子氏、（福）聖朋会管理者 仲澤朋子氏、東京フード（株）総務係長 鈴木加奈氏が行った。

ワーキンググループでは、今後、「働き方改革」の取り組みに関するアンケート調査を実施し、6月を目処に中間報告を行う予定となっている。



会員256社から回答、今後の活動に反映 ～「第4回会員満足度調査」の結果まとまる～

当協会では、「第8次中期運営要綱」の「会員の声に耳を傾け、会員・地域から“頼りにされる茨城経協”へと進化する」との目標を実現すべく会員の皆様に経協活動の満足度をお伺いし、今後の活動に活かすため、第4回目の会員満足度調査を昨年11月に実施した。

9つの重点事項に対する満足度の推移は以下のとおりであり、この結果は更なる満足度向上に向けて、支部や委員会活動の新規事業や事業のリニューアルを検討してゆく予定である。

1. 調査時期

11月7日に、1,124社に郵送で調査票を送付。

12月1日までに返信用封筒（メール、FAXでの回答も可）にて回答を依頼。

2. 回答状況

今回	256社／1,124社（回答率：22.8%）
第3回（平成28年11月）	341社／1,014社（回答率：33.6%）
第2回（平成27年11月）	321社／939社（回答率：34.2%）
第1回（平成26年11月）	274社／856社（回答率：32.0%）

3. 過去との比較

全ての設問の平均評価

	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
平均評価	3.78	3.79	3.80	3.76
設問1（会員である事）	4.02	3.97	4.01	4.02
設問2（会員交流事業）	3.74	3.79	3.78	3.73
設問3（情報提供）	3.93	3.94	4.00	3.92
設問4（研修・セミナー）	4.01	3.94	3.94	3.87
設問5（見学会・視察会）	3.68	3.66	3.68	3.64
設問6（地域貢献活動）	3.63	3.71	3.72	3.65
設問7（政策提言活動）	3.63	3.65	3.68	3.65
設問8（情報誌〈会報〉）	3.81	3.83	3.85	3.81
設問9（ホームページ）	3.55	3.60	3.58	3.57

※「大変満足」を5、「やや満足」を4、「普通」を3、「やや不満」を2、「大変不満」を1で計算

政策委員会

春季労使交渉問題への対応および次年度活動の充実について協議

2月9日(金)、水戸市・三の丸ホテルにおいて第4回政策委員会が開催された。

鬼澤邦夫会長の挨拶の後、幡谷史朗副会長（茨城トヨタ自動車(株)代表取締役社長）が議長となり議事を進めた。

会議では、澤畑専務理事より会務の状況が報告され、第8次中期運営要綱の目標である1,200社の達成について関係者への感謝がなされた。

次に、春季労使交渉・協議への基本的な考え方について、事務局より「本県において産業経済、雇用、消費に明るい材料が見られるものの、なお、労働力不足の顕在化などで不透明感を拭えない状況にある。経営側の基本スタンスは、①個別企業の賃金決定は自社の支払い能力が基本、②地方の中小企業は厳しい経営実態の企業も少なくない、各社の経営実態に即した慎

重な協議を行なうべき、③多様な人材に合わせた柔軟で納得性が高い人事制度構築が必要、④大都市への人口流出を防止するためには、若年者に魅力ある職場づくりが不可欠である」と説明。原案通りの考え方を会員に広報し、連合茨城との懇談会で労働側に理解を求めていくこととなった。

その後、第4回会員満足度調査と会員増強状況について協議した後、創立70周年記念事

業の進捗状況の報告があり、1,200社に増えた会員の満足度を高める活動について取り組んでいく事で、承認された。

平成29年度収支決算見込み、平成30年度収支予算案の概要について、「会員増の効果があり、会費収入が増え、財政の安定する見通しである」ことが事務局より報告された。科学技術特別委員会の名称変更については、4月より科学技術委員会とすることになった。



産業政策委員会

第2回産業政策委員会・茨城県との意見交換会を開催

産業政策委員会(委員長 鈴木康夫氏 (株)小松製作所執行役員生産本部茨城工場長)は、2月13日(火)、水戸京成ホテルにおいて、第2回産業政策委員会・茨城県との意見交換会を開催した。

産業政策委員会では、平成30年度の事業活動ならびに平成30年度会員ニーズアンケート調査について協議がなされた。平成30年度事業活動について

は、9月から10月上旬を目処に「県政要望書」を提出することを前提に、スケジュール化していく事務局案が承認された。また、平成30年度会員ニーズアンケート調査においても、4月から5月中旬にかけて実





施するなかで、会員から寄せられた意見・要望については、前回に続き、県政だけでなく、指定地方行政諸機関に対しても必要に応じて要望・提言を行っていくこととした。

続いて、同日開催された茨城県との意見交換会では、冒頭、鈴木委員長より、本会合の趣旨や県政要望に対する回答につい

の取組みについて説明していただいた後、県の産業施策に理解を示し、ご尽力いただいているとして当協会への謝辞が述べられ、引き続き県内企業の発展を支援していきたいとのご挨拶をいただいた。

意見交換会では、平成29年度産業政策に関する県政要望全53項目より、会員企業の関心

での御礼が述べられた。

次に、鈴木商工労働観光部長からは、商工労働観光部として新知事のもとで

の高い「雇用確保」「従業員教育・人材育成」などの観点を中心に、当委員会があらかじめ県に対して意見交換を求めた6項目について、当該部局の方々より現況および今後の対応等の説明を受けた後、委員からの様々な質問や提言を通じた活発な意見交換が行われ、行政施策についての理解を深めることができた。

最後に、今泉副委員長兼会員ニーズ調査部会長より、行政、企業と立場は異なるが、目指すべきは県内経済の発展であることから、これまで以上に連携を強化し、本県発展に繋げていきたいとの閉会挨拶がなされ、散会となった。

産業政策委員会

産業政策委員会（委員長 鈴木康夫氏（株）小松製作所執行役員生産本部茨城工場長）の会員ニーズ調査部会（部会長 今泉良氏（株）日立製作所電力ビジネスユニット日立事業所総務部長）は、2月1日（木）、当協会会議室において、第2回会員ニーズ調査部会を開催した。

今泉部会長の開会挨拶後、例

年開催している茨城県と産業政策委員会との意見交換会（2月13日開催）および次年度の活動（案）、次年度の会員ニーズアンケート調査方法について協議検討を行った。

茨城県との意見交換会においては、11月1日（水）に提出した「平成29年度県政要望」にもとづき、会員企業の関心の高い「雇

用確保」「従業員教育・人材育成」などの観点を中心とした6項目に関する進捗状況や今後の計画等について茨城県商工労働観光部を中心に説明し



第2回会員ニーズ調査部会を開催

ていただき、それらをもとに意見交換を行うこととした。また、次年度においては、アンケート内容のなかで「新しい茨城づくり政策ビジョン」や「支援を要望する具体的な事業等」に関する設問を設けるなど、幅広く具体的なニーズの吸収に努めることとした。

また、当協会が会員企業に対して先日実施した「第4回会員満足度調査」結果を踏まえ、県政要望のフィードバックをより効果的に行うため、県政要望の成果やポイントを集約した資料を作成し県回答書と合わせて会員企業へ配布する事とした。

これらの協議結果を踏まえ、2月13日（火）開催の第2回産業政策委員会にて議案審議を行い、今後の活動を進めていく。

経営教育委員会

第2期 女性活躍研究会(3回シリーズ)を開催。NTTコミュニケーションズと筑波銀行の取組みに学ぶ

経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行代表取締役会長）は、第2期女性活躍研究会を3回シリーズで開催。女性が働きやすい職場づくりを学ぶべく、先進的に取り組まれているNTTコミュニケーションズと筑波銀行の2社をベンチマークした。プログラムは下記参照。

第1回の小林氏は「女性が活躍する場を広げるには、①女性自身の意識改革、②生産性向上に向けた各種制度の導入と仕事の進め方の見直し、③周囲のサポート、なくしては成り立たない。また女性のライフイベント時には戻る場所を確保しつつ、周囲がそれまでの業務をカバーし“あなたを頼りにしている”と本人に示すことは大切だ」と経験を交えながら語られた。続いて筑波銀行・長島氏&大久保氏

からは、女性が働きやすい職場環境を整備するため、女性行員によるプロジェクトチームを立ち上げ、現状の課題やどんな制度や職場環境が求められているのか試行錯誤しながら改善を重ねてきた点や、同行で作成した“仕事と育児のガイドブック”についての紹介があった。

第2回は、AIや音声マイニ

ングなどの最新技術の紹介とデモを用いて、働きやすい職場づくりに取り組んでいる説明を頂いたほか、第3回では、参加者間でディスカッションを行い、各社が抱えている課題の共有と、課題解決に向けたアイデアを出し合い共有するなど、参加者間の交流を促進した。



第1回の模様 左から大久保氏、長島氏、小林氏

第1回：12月7日(木) 於：県産業会館 参加60名

講演「女性活躍推進と組織の生産性向上に向けて」

講師：NTTコミュニケーションズ常勤監査役 小林洋子氏

発表「当行が取り組む女性が活躍する職場づくり」

発表：筑波銀行執行役員人事総務部長 長島明伸氏

〃 中根支店副支店長 大久保紀恵氏

第2回：1月17日(木) 於：NTTコミュニケーションズ汐留ビル 参加37名

事例「女性活躍推進と“働き方改革”に向けた当社の取り組み」

発表：NTTコミュニケーションズダイバーシティ推進室長 藤城夏子氏

デモ：職場&働き方改革に資する先進技術（AI、ボイスマイニングなど）

第3回：2月14日(木) 於：水戸京成ホテル 参加31名

ディスカッションテーマ「職場の現状と課題&今後目指すべき職場環境」

ファシリテーター：徳田太郎氏（日本ファシリテーション協会元会長）

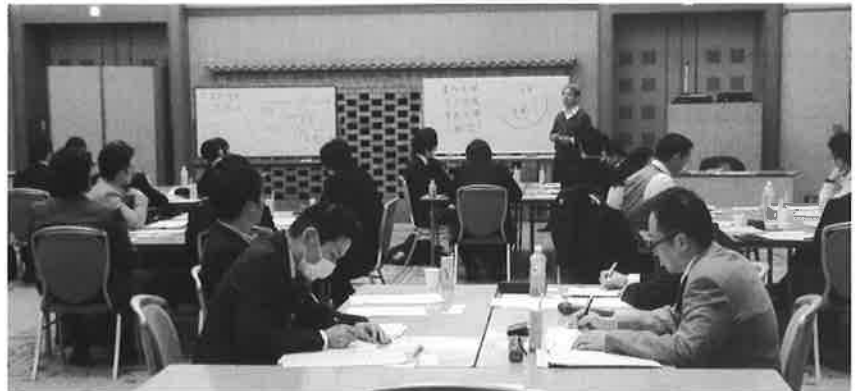
経営教育委員会(委員長 植木誠氏(株)筑波銀行代表取締役会長)は、1月31日(水)、2月7日(水)、2月21日(水)の3日間、ホテルレイクビュー水戸において、第8回マネジメント力向上研修をシリーズで開催。当研修は日本産業訓練協会のサポートを得て、例年テーマを変えながら、管理監督者を対象に開催されてきた。講師には第1回からご指導頂いている、日本産業訓練協会主幹講師の府川亮一氏にご指導頂いた。参加者数は37名。

今回は、管理者研修の基礎となる“M T P (Management Training Program)”をテーマに、①管理の基礎とプロセス、②変

革への管理、③育成と啓発、④信頼関係の形成、⑤よい管理の実現、を項目として、府川氏からの講義と参加者がケーススタディをもとにグループでの話し合いで解決策を見出し発表するなど、様々な意見・考え方を共有し合いながら進められた。

参加者からのアンケートでは「3回の研修を通じMTPの

理解を深めることは出来たと思う。が、府川講師も最後に話していたが、会社が私に期待しているのは、研修で得られた“知見”や“気づき”を、今後自職場でどう展開し実践していくかである。是非とも期待に応えられるよう精一杯取り組んでいきたい」との意見が寄せられていた。



創立70周年記念事業

当協会では、創立70周年記念事業として、1月25日(水)に、会員企業でもある、ひたちなか市の勝田環境株式会社(代表取締役 望月福男氏)にて“朝礼見学会”を開催した。

当日は月1回の環境整備点検の日であり、ラジオ体操や経営理念の唱和を行なう朝礼の後、車両や事務所の点検作業を見学した。

担当者から、働きやすい環境

朝礼見学会(勝田環境見学)を開催

整備の進捗状況を説明いただき、車両の点検では同社の望月社長自ら先頭に立ち、車両の汚れや整備状況をチェックリストに基づき確認作業が行なわれた。

また今回は参加者全員にポストイットが配布され、各見学場所で気づいた「良かった点」「悪かった点」をポストイットに記入し、その場でボードに貼り、同社の改善に役立てる試みが行なわれ、後日改善の取組みが参加者全員にフィードバックされた。

その後、廃棄物の新設ラインの見学終了後、望月社長以下のプロジェクトチームメンバーとの質疑応答が行なわれ、散会した。



支部共催

県北・県央ブロック会員交流会(忘年会)を開く 『可能性への挑戦』元力士 NHK大相撲解説者 舞の海秀平氏が講演

常陸・那珂地区支部(支部長 柳生修氏 コロナ電気(株)代表取締役社長)、県北地区支部(支部長 大原弘彰氏 (株)茨城サービスエンジニアリング代表取締役社長)、日立地区支部(支部長 館岡司氏 日立電鉄交通サービス(株)取締役社長)、水戸地区支部(支部長 西村寛氏(株)水戸京成百貨店代表取締役会長)は4支部共催により、29年12月26日(火)、ホテルクリスタルパレス(ひたちなか市)において、県北・県央ブロック会員交流会(忘年会)を開催し、121名の会員企業の皆様の出席を頂いた。

始めに主催者を代表し、常陸・那珂地区支部 柳生支部長より「本日のブロック会員交流会は、支部の垣根を越え、より広域的に会員の皆様の交流促進

の場として例年開催させて頂いている。業種業態の異なる皆様が交流を深め、新たな発見や気づきが得られる有意義な機会となるよう期待している。」と挨拶を頂いた。

続いて、鬼澤会長よりご挨拶を頂き、経協事業に対しての会員企業の皆様への感謝の意が述べられた。

併設の記念講演会では、元力士 NHK大相撲解説者 舞の海秀平氏をお招きし、『可能性への挑戦』をテーマにご講演を頂いた。力士時代のエピソードを織り交ぜ、ユーモアたっぷりの語りで、参加者も熱心に耳を傾けていた。

講演終了後には、100名近くの会員の方にご参加いただき交流パーティが盛大に開催され、常陸秋蕎麦やローズポーク、鯨

鯨鍋など、地元食材にこだわった料理や地元会員企業のお酒も用意され終始和やかな雰囲気の中、会員間の交流が進められた。また、忘年会を併設したこともあり、舞の海関のサイン色紙や会員企業の日本酒が当たる抽選会も行われ、参加した会員の皆様からも、「楽しかった。また参加したい。」との声を多数頂いた。



県北地区支部

(株)小松製作所 茨城工場を見学

県北地区支部(支部長 大原弘彰氏 (株)茨城サービスエンジニアリング 代表取締役)は、去る2月20日(火)、支部見学会を開催し、計21名が参加した。

本見学会は例年、会員企業の製品開発能力や技術向上の一助として、ものづくりをされている先進企業の取り組みを見聞し、生産現場の改善や革新的なものづくり精神などを学ぶ機会として実施している。

今回の企業見学会では、建設・鉱山機械のシェアが世界第2位で、大型ダンプトラックやホイールローダーを生産している、(株)小松製作所 茨城工場のご協力をいただいた。

当日は始めに、改革室長の福嶋氏より、ご挨拶とコマツ



流IoT戦略“建設機械のつながる化”による工事現場改革について紹介いただいた。

また、生産現場および安全道

場の見学を行った。安全道場では、同社の安全・環境課長の平澤氏より解説をいただいた。

同社は、他社が数年では追いつけない優れた特徴を持つ商品を“ダントツ商品”と呼んでいる。これはハイブリッド建機や無人走行ダンプトラック等に代表され、これらを使った“ダ

ントツサービス”を提供。業界に先駆けて開発されたICT建機は、自動制御により初心者であっても熟練者と同精度に施工出来るため、人手不足という建設現場の課題解決に貢献している。

参加者からは「さすが“ダントツ”といった印象だった。も

のづくりや先進技術のお話（考え方や仕組み）はなかなか自社に持ち込むにはハードルが高いと感じた。しかし、安全道場の取り組みは、日々の積み重ねやモラルの高さがうかがい知れ、自社でも取り入れたい点が多くあった。」などの感想が寄せられた。

常陸・那珂地区支部

5Sセミナーを開催

常陸・那珂地区支部（支部長柳生修氏 コロナ電気㈱代表取締役）は、1月29日(月)、ホテルクリスタルパレスにて5Sセミナーを開催。“Smile 5Sで楽しく進める！やりたくなる5S～スピーディーで確実に効果がでる／しっかり定着する／どの現場にもマッチする柔軟性～”と題し、講師には、東京や

関西エリアで活躍しているロンド・アプリウェアサービスの岡谷みさお氏をお招きし、ご指導頂いた。参加者数は51名。

岡谷氏は「仕事柄、企業を訪問し数多くの現場を見学させて頂いているが、最近顕著に感じるのが、現場の基本であるはずの“作業標準”が守られていないという点である。完璧な作業標準が作ってあっても、作業者が守ってくれなくては何の役にも立たず、改めてその原因が何処にあるのか、突き詰めることが大切である。元々の作業標準自体が分かり辛いのか、人員不足により現場で教える人がいないの

か、職場のモラルが低下しているのか等、その原因を探り解決するためにも現場をよく分析することが大切である。現在は様々なツールが登場しており、紙のマニュアルでなく一連の作業を動画で記録したものを教材として利用するなど、工夫一つで環境は改善される」と語り、具体的な方策について解説を頂いた。

参加者からは「現在新たな設備導入を進めており、今回の内容は大変参考になった。特に“モラルの低下”は悩ましい部分でもあり、動機付けができるよう意識しながら現場づくりを進めていきたい」といった感想が寄せられていた。



取手・龍ヶ崎地区支部

働き方改革セミナーを開催

取手・龍ヶ崎地区支部（支部長 九鬼理宏氏 キリンビール㈱取手工場長）は、2月14日(水)、キリンビール㈱取手工場において、働き方改革セミナーを開催した。

はじめに、開会挨拶で九鬼支部長が挨拶。その後、第1部として、厚生労働省 茨城労働局

雇用環境・均等室 室長補佐（指導）加藤賢一様より「“働き方改革”推進の取組み」について、第2部では、森・濱田松本法律事務所 弁護士 荒井太一様より「“働き方改革”を踏まえた労働法リスクの見直しと対応」について、お話をいただいた。



茨城労働局の加藤様からは、県内の働き方改革の好事例や企業に対する支援策について解説いただいた。弁護士の荒井様からは、労働基準法の改正案や長

時間労働の是正、非正規労働者の待遇改善など、企業が着手すべき対策について解説いただいた。

セミナー終了後には、荒井弁

護士を囲む交流会も併設し、セミナー内容に関する意見等を交わし、働き方改革に関する内容や今後の動向について理解を深め散会した。

土浦・石岡・つくば地区支部

支部総会を開催 「AI・人工知能時代に求められる人材マネジメント改革」について意見交換

土浦・石岡・つくば地区支部（支部長 田淵道文氏 日立建機(株)執行役専務開発・生産統括本部長）は2月22日(木)、ホテルグランド東雲において、平成29年度支部総会を開催した。

はじめに田淵支部長が「何かとお忙しい中、支部総会にご出席頂きまして、誠にありがとうございます。本年度も協会役員、会員みなさまの多大なるご協力を得て入会勧誘運動を展開した結果、協会全体で108社にご入会頂きました。当地区支部では24社にご入会頂き、協会の全会員数としては1,200社となりました。みなさまのご協力に、厚く御礼申し上げます。本日は、元富士通(株)取締役副会長の伊東千秋様に『AI・人工知能時代に求められる人材マネジメント改革のゆくえ』と題しましてご講演を頂き、その後、ディスカッション・情報交換を

行う予定となっております。さて、今年は年明けより日本の景気は回復傾向を維持しており、数年前より労働力人口の減少が問題視されてきましたが、いよいよ多くの企業が直面することになるのではないかと思います。この人手不足は景気回復に伴う一過性のものではなく、今後さらに深刻化していくことが予測されます。自動化、省力化、IoT化による生産性の向上、高齢者や女性の活用など労働力人口減少への対策を加速させることが、協会会員企業の皆さまにとっても非常に重要な課題となってきているのではないのでしょうか。この点今後協会の中でも情報共有、情報交換が進められたらと考えております」と挨拶をされた。

引き続き、鬼澤会長が挨拶に立ち「本日は、お招き頂きまして、誠にありがとうございます

す。田淵支部長からもございましたが、会員数につきましては、皆様のご協力のおかげをもちまして、1,200社と過去最高を更新するとともに、第8次中期運営要綱の目標を前倒しで達成致しました。これもひとえに毎年充実した支部活動を展開されている、支部長をはじめ役員幹事の皆さまのご尽力の賜物と考えられ、あらためて御礼申し上げます。次第です」と述べられた。

その後、経営者協会の事業活動概要について加藤事務局より報告がなされた。本年度ご入会頂いた13社の新入会員のご紹介の後、事務局より支部活動報告がなされた。

講演会にうつり、元富士通(株)取締役副会長の伊東千秋氏が「AIとマネジメント」をメインテーマにご講演された。伊東氏は「これから雇用の需給関係に大きな変化が生じる。現在の



挨拶をされる田淵支部長



日本は、少子高齢化で生産年齢人口の急減し、未曾有の採用難となっている。近い将来の日本は、AI(人工知能)の積極的な導入が不可避となり、AIの導入により、大量の余剰人員が出現することとなる。企業側、経営者が果たすべき役割は、生産性向上に向けた更なる経営変革と、今の従業員の雇用を継続するため、AI時代に適合した資質を備えさせること、そのための意識改革・キャリア教育が求められる。特に、一般的に、マニュアルがある仕事は全て人工知能でできるはず。人間が必要とされるのは例外処理だけとな

る。必然的にマニュアル人間ではなく、温情や思いやりのある人が必要とされる時代が来る。さらに、加速度的に進化を続けるAIと争っても簡単には勝てない、むしろ、AIをどこに使えるかを考え、AIをうまく使ったものが勝ち残ると考える」とAIと人材マネジメントのこれからの関係性について述べられた。

講演終了後には、伊東氏の講演を深めるため、参加者

全員が参加し、グループディスカッションを行った。ディスカッションでは、講演内容を自社の経営にあてはめ、共感する点や自社でも取り入れることができる考え方などが活発に話し合われた。

最後に交流パーティにて懇親を深め会を閉じた。



土浦・石岡・つくば地区支部

人事労務研究会総会・例会を開催

土浦・石岡・つくば地区支部(支部長 田淵道文氏 日立建機(株)執行役専務開発・生産統括本部長)の人事労務研究会(代表世話人 塚崎俊一氏 関東情報サービス(株)代表取締役)は2月8日(木)、ホテルグリーンコア土浦において例会を開催した。

例会のテーマは「“イマドキ”の新入社員、若手社員の育成と法律実務をめぐる諸問題」。講師に、弁護士法人萩原総合法律事務所の萩原慎二弁護士、

(株)ヒューマン・ブレンディ代表取締役の田寺尚子氏の御二方をお迎えし、萩原氏には若手・新入社員を巡る法律実務について、田寺氏には指導方法について解説頂いた。

萩原氏からは、厳しい指導とパワーハラスメントとの境について、労働時間管理(残業管理)の留意点、新入社員に対する会社として講ずべきメンタルヘルス防止策、資格取得、自己学習等と労働時間との関係について

など、4月に新入社員を迎え入れるに際しての労務管理上の留意点についてご講演頂いた。

田寺氏からは、「イマドキ」の新入社員、若手社員の傾向、トレンドについて、「イマドキ」に合わせた指導方法について、「イマドキ」社員のモチベーションの高め方、戦力化についてなど、新入社員のマインドに焦点をあてて詳述頂いた。



いばらきの理解を深める9支部めぐり (第12回)

「鹿行地区支部」～鉄と豚肉

葛田 一雄

茨城県経営者協会は、経営者による経営者のための組織であり、「相互啓発と労使関係の健全な発展および産業経済の興隆」が主たる使命である。茨城県経営者協会が目指している目標の1つが企業体質の強化である。目標の1つが組織の構成要素の有効化を助言し、人材の能力開発を支援することである。組織の構成要素は、理念、戦略、機構、しくみ、人材、組織風土および管理能力が主たるものである。

今回の連載では支部ごとに地域特性および特質ある企業をフォーカスして、理念や人材育成などについて論述してきたが、主たる目的は経営者による経営者のための組織を確認するものである。

1. 鹿行

鹿を「ろく」と呼ぶのは帝位や政権を例えてのことである。逐鹿とは、鹿が禄に通じるるところから帝位を争うことをいう。行を「こう」と呼ぶのは行動がそうであるように、行いや振る舞いのことである。

鹿行地区は、鹿島郡の「鹿」と行方郡の「行」からの命名であり、茨城県の南東部地域である。鹿島港を中心に鹿島臨海工業地帯が造成された以降は、鉄鋼や石油化学などが集中する臨海工業地域になった。また、農業が盛んで、銚田市（主に旧銚田町及び旧旭村）は遠州灘沿岸（静岡県西部と愛知県東部）と並ぶメロンの大産地として出荷量は日本一であるし、畜産とりわけ豚肉の産地として著名である。生ハムメロンは、イタリアとスペインの伝統的なオードブルである。保存食であるハムの強い塩味をメロンの甘味が和らげるからか、メロンの青臭さとハムの風味がよく調和するからか、味覚の相補性がある。

今回は、鉄鋼業および畜産業とりわけ豚肉の生産に焦点を当てたい。

茨城県経営者協会の
目標の1つ
企業体質の強化

Shared Values	理念
Strategy	戦略
Structure	機構
System	しくみ
Staff	人材
Style	組織風土
Skill	管理能力

7Sの有効化を助言し、人材の能力開発を支援する

2. 支部長企業は鉄鋼会社

支部長は、新日鐵住金(株)鹿島製鐵所副所長太田晃三氏である。いつの時代にあっても、鉄は不可欠な素材である。今日でも、先端技術の集約といえる自動車には重量の7割以上の鉄が使われている。鉄は人類の進歩を支えてきた。古代から現代に至る歴史の中で、鉄は、文明を榮えさせてきた。

(1)鉄のこと

鉄は、土壌、岩石及び鉱物に化合物として存在する。鉄は、硬質であるが、延性、展性に富み、赤熱すると軟性となり、白熱すると熔融する。少量の炭素を含み、含有によって銑鉄から鋼に至る特性を発揮する。武器など「はもの」あるいは固いことから「鉄の規律」などと称することがある。

(2)若松の浜は

鹿島では、古来より、鉄づくりが行われていた。奈良時代の常陸風土記に「若松の浜(鹿島)の鐵を採りて剣を造りき」と記されている。古代製鉄ゆかりの地に、昭和43年12月1日(12月1日は鉄の記念日)、近代的な鹿島製鐵所が開所した。

鹿島製鐵所の特長は、鋼板ならびに建材の製造拠点として、自動車・家電向けの薄板鋼板を中心に厚板鋼板、鋼管、形鋼など、付加価値の高い製品を製造し、かつ世界トップレベルの生産性を併せ持つ銑鋼一貫製鐵所である。なかでも生産量の約80%を占める鋼板は、表面処理鋼板や高張力鋼板を中心に年々製品が高級化している。

(3)自然に優しい鉄づくりを

海、川、土地など、周辺環境を大切にすクリーンな製鐵所を目指している。新日鐵住金グループは、「企業理念」および「企業行動規範」を定め、実践を通して企業価値を向上させ、社会の発展に貢献することにより、社会的責任を果たしている。

(4)企業理念と社員行動指針は

企業理念には、基本理念及び経営理念がある。基本理念は、「新日鐵住金グループは常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。」である。

経営理念は以下のとおりである。

1. 信用・信頼を大切にすグループであり続けます。



新日鐵住金鹿島製鐵所

2. 社会に役立つ製品・サービスを提供し、お客様とともに発展します。
3. 常に世界最高の技術とものづくりの力を追求します。
4. 変化を先取りし、自らの変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。
5. 人を育て活かし、活力溢れるグループを築きます。

社員行動指針は、「目指す、大切にする、働きかける」である。

「目指す」…創造・先進・成長／自らを磨き、高い目標と情熱を持ち、チャレンジを続けます。「大切にする」…自律・現場・本質／ルールと約束を守り、現場現物をもとに、本質を追究します。「働きかける」…対話・協働・伝承／対話と協働による相互信頼を築き、心と技を次代につなぎます。

私たちはこれらの指針に則り、世界を舞台に、常に正々堂々と行動します。

(5)企業行動規範は

日本経団連の「企業行動憲章」および「実行の手引き」をベースとして「企業行動規範」を定め、実践をとおりて社会的責任を果たしている。

1. 法令・規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。
2. 社会的に有用で良質かつ安全な製品・サービスを開発・提供し、お客様の満足と信頼を獲得します。
3. 公正かつ自由な競争ならびに適正な取引を行い、政治・行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
4. 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示するとともに、各種情報の保護・管理を徹底します。
5. 安全・健康で働きやすい職場環境を実現するとともに、従業員の人格と多様性を尊重します。
6. 社会の一員として、積極的に地球環境保全や地域・社会に貢献します。
7. 反社会的勢力や団体とは一切の関係を持たず、不当な要求に対しては、断固たる態度で臨みます。
8. 各国・地域の法律を遵守し、各種の国際規範、文化、慣習等を尊重して事業を行います。
9. 本規範を遵守し、その確実な実行に向けた体制を確立するとともに、本規範に違背する事態が発生したときは、迅速に原因究明と再発防止に努め、的確に説明責任を果たします。

さて、支部長の所属する新日鐵住金(株)鹿島製鐵所は「奇をてらわず正々堂々とした鉄づくりを継承し発展させる」を方針として業務運営を行っている。世代交代の真只中の時期だからこそ、基本に立ち返って愚直に基本を繰り返し追求することにより健全な人材を育成し、その人材に支えられた健全な組織により、ものづくりをしたという思いがこめられている。

3. 石上ファーム

銚田市のブランド豚が、「まごころ豚」であり、(有)石上ファーム(代表取締役社長 石上守)の手になる名品である。同社は、種豚生産からの一貫生産を行っている。

(1)まごころ豚とは

甘みのある肉質と脂肪交雑がほどよく入ったやわらかい食感が特長である。インテグレーション生産体制のもとに、豚の疾患感染リスクをシャットアウトする「オールイン・オールアウト」方式を採用し、徹底した衛生管理を行っている。

(2)品種と飼料に工夫あり

日本一の美味しい豚肉を作りたい。ジューシーな食感を作りたい。特に拘ったことが品種と飼料である。美味しい肉質を持つといわれているヨークシャー種を原産種として、質の高い飼料にミネラル入りの酵素資料を加え、ストレスを与えないで肥育するスタイルによってまごころ豚が出来あがる。

4. 鉄と豚肉

鉄は文明の礎であると共に人の命を支えている。人が空気を吸い込んで酸素を運びエネルギーに変換するときに鉄が活躍する。金(きん)はゴールドであるが、金(かね)というとな金、銀、銅、鉄などの金属の総称である。漢字遊びであるが、金(ゴールド)より良いものが金より良いから「銀」、金と同じであるから「銅」である。鉄の旧字体は鐵であるが、金属の王様、王哉である。鉄の開発には多額の費用を投資するところから「金を失う」という意味もあるという人物もいる。

とんかつ、豚汁そして保存食、豚肉は、食肉の王様ではなからうか。現に、食肉の年間消費量は、牛肉や鶏肉に比べて2倍ほどある豚肉が第一位である。豚肉を保存食としたものがハム、ソーセージ及びベーコンであるが、ハムがゲルマン語の太もも、ソーセージはラテン語で塩、ソーセージはフランス語の背肉やバラ肉が語源と言われている。

鉄と豚肉。妙な取り合わせにも思えるが、地域経済の特質であるし、産業母材の鉄及び人間の生命を支える豚肉は支部の誇りの1つではなからうか。



石上ファーム

移民政策がない中での 外国人の定住化にどう対応するか

茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋

NHKの調査報道によると全国の83%の自治体で日本人人口が減少する一方で、75%の市町村で外国人人口が増加しています。茨城県には約6万人の外国籍の県民が暮らし、毎年3千人が増えるなど増加傾向がみられます。この背景に在留資格（ビザ）更新の必要がなく就労制限もない永住者の増加が指摘されています。

在留資格	日本在留人口	
永住者	73万8,661人	就労制限なし
特別永住者	33万4,298人	就労制限なし
留学生	29万1,164人	就労制限あり
技能実習生	25万1,721人	在留期間が限定

留学生は学業が終わり就労の資格を得られなければ帰国します。農業分野で多い技能実習生も3～5年と期間が決まっています。特別永住者の多くは在日韓国朝鮮の方々です。約30年前の入国管理法の改正後、日系人を対象に定住者という資格ができ、その結果日系ブラジル人、日系フィリピン人が多く来日しました。在日の方がオールドカマーと呼ばれ、日系ブラジル人などはニューカマーと呼ばれ、そのニューカマーで永住者が増えています。

国籍	本人口	労働者数	労働者の在留資格	労働者の業種	茨城の傾向
ブラジル	5,847	4,202	定住・永住で99%	製造業で66%	食品製造業が多い
フィリピン	9,598	5,260	定住・永住で74%	製造業で63%	
中国	12,425	7,676	技能実習で56%	農業37%・製造27%	農業分野が多い
ベトナム	5,051	3,868	技能実習で74%	製造43%・農業25%	

茨城ではベトナム国籍の人が急増していますが多くは技能実習生です。ブラジル人やフィリピン人の永住化傾向は進んでおり、新年度からはこれまで来日できなかった日系ブラジル4世が一定の条件で来日可能となることもあり、常総市や土浦市、牛久市など県南西部を中心にブラジル人の住民としての受け入れ体制作りが各方面で課題になると考えられます。特に続々と来日してくる日系人は子連れが多く、常総市のある小学校は3、4名に1人がブラジルの子になってきています。冒頭の永住者が増えているということは、子どもの保育や教育など定住化に伴う対応が重要になるということです。それは行政の課題であるだけでなく、将来の地域産業の担い手の育成という点では産業界にも関わる課題です。何もしなければ低学歴のまま社会に居場所がない若者が増え貧困の連鎖が強まります。学校、NPO、企業が連携して外国ルーツの子の学習環境を整備したりキャリア支援をしていけば、多くのグローバル人材を育てることができるはずです。そのために私たちは、1年かけて準備し4月から多文化保育と学習支援付きの学童保育事業を行うことにしました。

セミナー・事業等のご案内

＝詳細は、事務局までお問合せください＝

セミナー名	日時	テーマ・内容	講師	会場
第5期 事例に基づく 職場の労働法 (3回シリーズ の第1講)	4月18日(水) 13:30～16:30	これだけは知っておきたい！ 事例に基づく“最新の”職場の労働法 ～非正規と正規社員との間の不合理な処遇の解釈、定年後再雇用をめぐる労務トラブル、アスペルガー症候群をめぐる対応など～ ※第1講 ①今国会に提出予定の「働き方改革関連法案」の概要について ②労働時間管理をめぐる重要判例の解説 ③非正規社員に対する労務管理上の留意点を解説	大和田・谷田部法律事務所 当会顧問弁護士 大和田一雄氏	水戸京成ホテル
【第1部】 助成金活用 セミナー 【第2部】 事業承継 セミナー	4月27日(金) 【第1部】 9:30～12:30 【第2部】 13:30～16:30	第1部では平成30年度の厚労省管轄の助成金の概要とその活用について、第2部では事業承継にまつわる法律と経営・税務について解説いただく。	第1部講師： 社会保険労務士法人 葵経営代表社員 特定社会保険労務士・ 経営学修士(MBA) 皆川雅彦氏 第2部講師： ①みとみらい法律事務所 弁護士 後藤直樹氏 ②増山会計事務所 税理士 増山英和氏	水戸 プラザホテル
第17期 ISO14001 内部監査員 養成研修会	5月10日(木) ～11日(金) 両日とも 9:30～17:00	●ISO規格の解説、規格の理解度チェック、内部監査とその技法について、不適合判定力チェック、チェックリストの作成 ●ロールプレイング(監査の模擬訓練：チームミーティング、チェックリストの作成、オープニングミーティング、証拠の収集、クロージングミーティング、講評)・修了テスト	元(株)ニコン 高橋 清氏	茨城県産業会館
第5期 事例に基づく 職場の労働法 (3回シリーズ の第2講)	5月16日(水) 13:30～16:30	※第2講 ①高齢者雇用をめぐる重要判例の解説と労務管理上のポイント ②個人情報取扱いに関する留意点を解説	大和田・谷田部法律事務所 当会顧問弁護士 大和田一雄氏	水戸京成ホテル
第4期 新任管理者研修 (2回シリーズ の第1講)	6月6日(水) 13:30～17:00	管理者に求められる“リーダーシップ” “部下育成”を徹底して学ぶ ●リーダーシップとは何か ●リーダーシップとマネジメントの違い ●組織風土の変革、場づくり ●変化に対して価値を創造し続ける	ヤマオコーポレーション 代表取締役 鬼澤慎人氏	茨城県産業会館
第4期 新任管理者研修 (2回シリーズ の第2講)	6月13日(水) 13:30～17:00	管理者に求められる“リーダーシップ” “部下育成”を徹底して学ぶ ●部下の成長を助ける ●人をやる気にさせ動かす ●状況に応じたリーダーシップの実践 ●リーダー自身の革新計画	ヤマオコーポレーション 代表取締役 鬼澤慎人氏	茨城県産業会館

第17期 ISO9001 内部監査員 養成研修会	6月14日(木)～ 15日(金) 両日とも 9:30～17:00	●ISO規格の解説、規格の理解度 チェック、内部監査とその技法につ いて、不適合判定力チェック、チェッ クリストの作成 ●ロールプレイング(監査の模擬訓 練:チームミーティング、チェックリ ストの作成、オープニングミーティ ング、証拠の収集、クロージングミー ティング、講評)・修了テスト	元(株)ニコン 高橋 清氏	茨城県産業会館
第5期 事例に基づく 職場の労働法 (3回シリーズ の第3講)	6月20日(水) 13:30～16:30	※第3講 ①アスペルガー症候群の社員の処遇 について解説 ②無期転換権発生後における労務管 理上の留意点を解説	大和田・谷田部法律事 務所 当会顧問弁護士 大和田一雄氏	水戸京成ホテル

【お問合せ先】 一般社団法人 茨城県経営者協会
〒310-0801 水戸市桜川 2 丁目 2 番35号 茨城県産業会館11階
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109
ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール info@ikk.or.jp

新入社員用DVD教材のご案内

当協会では、各社の企業内教育の効率化を図るために、教材の無料貸出しを行っております。
今回は新入社員向けDVD教材を紹介いたします。3ヶ月前からご予約可能で、1回につき5巻まで、
8日間貸出し可能です。ご希望の際は下記までご連絡ください。

[TEL:029-221-5301 担当:高橋、平澤、澤畑英史]

コード	タイトル	各巻 タイトル	時間
D-0010	あなたの常識・良識は大丈夫?!	社会人やつていいこと・悪いこと	45分
D-0011	新入社員のための こんなとき どうする? 仕事のマナー	電話編	34分
D-0012		コミュニケーション編	42分
D-0013		職場の基本マナー編	39分
D-0014	新入社員・ ケーススタディ集 あなたなら どうする?	知ったかぶりの仕事では…	10分
D-0015		規則を軽く考えていませんか?	10分
D-0016		チームの一員になるとは	10分
D-0017		ひと言の伝達モレが…	10分
D-0018		要領よく仕事をするとは	10分
D-0019	「プロ」としての意識とスキルを身につけるフォローアップ・セミナー		55分
D-0021	誇りある	社会人としての基本 なぜが人間的成長を促す	40分
D-0022	社員をめざす 新・物づくりの	プロフェッショナルとしての基本 なぜでいい物づくりをする	30分
D-0023	こころ	身につけよう改善活動の基本 なぜで成果を上げる	25分

茨城空港から便利でお得な空旅を!



茨城 - 台北 (台湾) への 連続チャーター便 運航決定!!



週2便!! 連続チャーター便の概要

運航期間 3月26日～10月25日 週2便(月・木)
 発着空港 茨城⇄台北(台湾桃園国際空港)
 運航会社 タイガーエア台湾

茨城 → 台北	台北 → 茨城
15:00 → 17:30	09:30 → 14:00

※各便は180分程度です。運航時刻は変更となる場合があります。
ノスタルジックな街並み「キョウフン」

■台湾便航空券のご予約は
 TEL:03-6455-0242(10:00～17:00/月～金) **タイガーエア台湾** 検索

札幌便 毎日2往復運航中!! **札幌**

面談地(五輪特) **SKY**

最安 5,600円～

	茨城 → 札幌	札幌 → 茨城
～3/24	09:35 → 10:55 18:40 → 20:05	09:00 → 10:30 17:40 → 19:10
3/25～	08:35 → 10:00 17:30 → 18:50	08:55 → 10:20 17:15 → 18:40

※各便乗員の乗務時間(2018年3月26日～)

那覇便 毎日直行便運航中!! **那覇**

SKY

最安 7,100円～

	茨城 → 那覇	那覇 → 茨城
～3/24	11:05 → 14:20	15:20 → 17:50
3/25～	11:00 → 14:00	14:10 → 16:45

※運賃に別途搭乗券使用料、大人11,000円、4歳以上17才未満5,500円が必要となります。航空運賃と合わせてお支払ください。
 ■国内線航空券のご予約：スカイマーク航空会社 TEL:0570-039-283(8:00～20:30/年中無休)



心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

CROWN
 "ATHLETE"
 SERIES



クラウン アスリート

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851
 TEL 0120-090110
<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。 **TOYOTA**

協会けんぽ茨城支部 平成30年度保険料率のお知らせ

平成30年3月分（4月納付分）からの保険料率は次のとおり改定されます。

平成29年度	健康保険料率	9.89%	介護保険料率	1.65%
		引き上げ		引き下げ
平成30年度	健康保険料率 (都道府県ごと)	9.90%	介護保険料率 (全国共通)	1.57%

- ◆ 40歳から64歳までの方（介護保険第2号被保険者）は、健康保険料率に介護保険料率が加わります。
- ◆ 変更後の健康保険料率と介護保険料率は、3月分（4月納付分）から適用されます。
- ◆ 賞与については、支給日が3月1日分から変更後の保険料率が適用されます。
- ◆ 健康保険料率（9.90%）の内訳は、基本保険料率（6.29%）と特定保険料率（3.61%）です。

なお、協会けんぽの平成30年度の全国平均健康保険料率は、10.0%です。都道府県支部の健康保険料率は、各都道府県の医療給付費等により決定されます。

＜ 保険料率に関するお問い合わせ：029-303-1580（企画総務グループ）＞

4月に届く健診のご案内をぜひご覧ください！

生活習慣病予防健診（被保険者の健診）



- ▶ 対象は35歳～74歳の被保険者さま
- ▶ 補助があるから費用がおトク！
- ▶ 各種がん検診も同時に受診できます！

事業所に1通届きます

特定健診（被扶養者の健診）

- 対象は40歳～74歳の被扶養者さま
- 市町村の集団健診や
- 契約医療機関で手軽に受診できます！



ご自宅に届きます

＜ 健診に関するお問い合わせ：029-303-1584（保健グループ）＞

全国健康保険協会 茨城支部
協会けんぽ

〒310-8502
水戸市南町3-4-57 水戸セントラルビル

おいしい

旬の食材や祭事ごとのメニューなどを提案しています。皆さまの豊かな食生活を応援します。

いこい

買い物の後にちょっと休憩。コミュニティが活発です。

たのしい

みんなで楽しめる体験・交流イベントも開催します。

ふれあい

カスミスタッフと地域の皆さまとの交流が広がります。

出会い

人に出会う、食に出会う。いろいろな出会いが待っています。

KASUMI

いらっしやいませ

カスミは買い物をするだけでなく、出合いやふれあい、発見があります。地域のコミュニティの拠点として皆さまのご来店をお待ちしております。

株式会社 カスミ
〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1 TEL.029-850-1850
<https://www.kasumi.co.jp/>

KASUMI

カスミ公式フェイスブックページ
<http://www.facebook.com/kasumi.fanpage>



HITACHI
Inspire the Next

次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

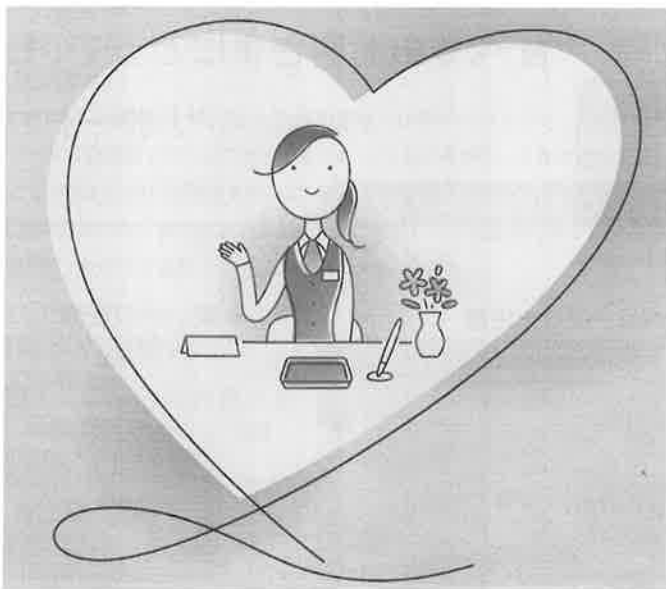
今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 日立金属株式会社 日立化成株式会社 日立建機株式会社
株式会社 日立ハイテクノロジーズ 日立アプライアンス株式会社 日立オートモティブシステムズ株式会社

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたにも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

 **常陽銀行**


MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

当協会年会費「口座振替」開始の 御案内

当協会では、会員様の利便性向上ならび事務負担軽減の観点より年会費の口座振替を「平成30年下期会費(平成30年10月)」より開始することとなりました。

お手続きの方法のお申込みにつきましては、「平成30年3月頃」に会員様にご連絡をさせていただきますので、お手続きのご協力をお願い致します。

年会費口座振替の お申込みから開始までの流れ

ステップ1 (平成30年4月)

当協会より「年会費の口座振替の申込書」「預金口座振替依頼書」「返信用封筒」の3点を郵送いたします。

ステップ2 (平成30年4月～6月)

郵送させていただきました「年会費の口座振替の申込書」および「預金口座振替依頼書」に、必要事項をご記入のうえ、返信用封筒でご送付ください。

※平成30年10月からの口座振替を希望の場合は、平成30年6月迄にお申込みください。

ステップ3 (平成30年10月)

当協会にて手続きを行い、年会費の口座振替を致します。

口座振替をすると、 下記のように便利になります

1. 銀行に行く手間や都度の振込手続きが不要です!!
2. 振込手数料の負担がなくなります!!
3. 通帳にて引落とし内容をご確認いただけます!!

お問合せ

一般社団法人茨城県経営者協会 事務局 澤畑(英)、石川
TEL:029-221-5301 FAX:029-224-1109
E-mail:info@ikk.or.jp